

生きがい・健康・教養を高める

— 東区老連広報紙 —

堺市
東区老連

すこやかひがし

すこやか老友

第 39 号

発行：堺市東区老人クラブ連合会

編集協力：(株)博報社 大阪市平野区喜連西4-6-69 ☎06-6797-0212

- ◇日置荘校区老人クラブ連合会
- ◇八下西校区老人クラブ連合会
- ◇白鷺校区老人クラブ連合会
- ◇登美丘東校区老人クラブ連合会
- ◇登美丘南校区老人クラブ連合会
- ◇登美丘西校区老人クラブ連合会
- ◇野田校区老人クラブ連合会

第3回 東区老連 単位クラブリーダー研修交流会



会員増強運動を前進させましょう!



第3回東区老連・単位クラブリーダー研修交流会が、3月4日(金)午前10時から大口会館で開催されました。7校区から約90人の参加があり、有意義な1日を共に過ごしました。

午前、「会員増強の取り組みと現状」をテーマに各校区の代表者が発表。発表後には、参加者から多数の質問が寄せられ、理解を深めました。(発表要旨は2面)

午後は、藤田紀江さんが「私の生き甲斐」と題して講演。高齢者施設等での歌を通じた慈善活動のお話、歌唱を披露されました。



藤田 紀江さん



老人の可能性について

東区老人クラブ連合会
会長 木原 剛

近所の本屋の棚を眺めていたら、野村克也著「老いの可能性―老いて学べば、即ち死して朽ちず」(海電社)という本が目にとまった。早速手に取り、帯を読むと次のように書かれている。老いの特権を生かす! 知将が提言する老いの哲学。

さらに帯の裏を見ると次の文に出合う。

私も、八十歳を迎えた。老年期はかけがいのないものである。

自分の好きなこと、やりたいことを、いまこそ主体的に選ぶことができる。そこに時間もエネルギーも注ぎ込むことができる。

目の前に、可能性の海が広がっているのだ。知将野村克也には前途洋々の海原が広がっているという。うらやましい限りである。私のようなウズノロマな老人には想像もつかぬ海原である。しかし、野村の「私も八十歳である」の宣言に引かれて本書をかうことにした。実は私も来年、八十歳になる。前途洋々の海原に出合うには、どんな生き方があるのだろうか、どんな考え方があろうか、どんな考え方があろうか、それを知りたくて、本書を求めた。

知将野村克也は、ご存じの方(ファン)も多いかと思われませんが、一九三五年生まれ、現役時代は南海ホークス、ロッテオリオンズ、西武ライオンズで活躍、日本プロ野球史上における王、長嶋と並ぶ野球人です。王、長嶋はきらびやかな実績を持ってプロ野球に投入した。王は高校球児として甲子園での活躍、長嶋は大学野球での活躍、人気抜群であった。一方、野村は高校卒、テスト生として当時の南海ホークスへ入団している。いつの日だったか忘れたが、野球解説の折、何かの拍子に野村は王、長嶋に大いに嫉妬していたことを告白していた。野村は嫉妬心をバネに猛練習をし、克明に野球日記をつけ、野球への思いを超え人間、人生についての思索を深めたものと思われる。

人間観察も鋭い。本書を読むと野村は読書家であり、引用の多さとその深さに感銘させられる。読みやすい文章には嫉妬心はみじんもない。最近、「長嶋は天才である」と言っていた。さて、老いの特権とは何であろう。小春日のある日、日なたぼこをしていたら、次のような思いに駆られたことがある。

人生五十年、下天の内をくれば、夢まぼろしのごとくなり、一度生をうけ滅せぬ者のあるべきか

(幸若舞曲、教盛)

人生八十年、もう十分長生きしたと思う。そろそろお迎えが来ても不思議ではない。

「滅せぬ者のあるべきか」は宿命と知るべし。死を前にした男の生きざまは、福田こうへいの「南部蝉しぐれ」の歌詞、

あれを「覓よ 真つ赤な夕陽 落ちてゆくのに まだ燃えている 土砂降りの社に鳴くや蝉しぐれ 木坊



登美丘南校区
本原 剛 氏



八下西校区
馬末野民也 氏



白鷺校区
星野 收 氏

第3回 東区老連 単位クラブリーダー研修交流会

テーマ「会員増強の取り組みと現状」

発表要旨

- ①登美丘南校区
自治会で広報紙を配布し、老人クラブを紹介。会員が友達・近所に声掛けを実施。
- ②日置荘校区
あいさつでは必ず入会協力をお願い。年度変わりには、回覧板・掲示板でPR。
- ③八下西校区
あらゆる場で入会を勧める「声掛け運動」の継続。発展につながる若い人の加入が課題。
- ④白鷺校区
高齢化が顕著。若手育成が課題。「おむすび盛年会」の名称で活動。
- ⑤野田校区
一人一人への声掛けを実施。自治会との連携強化で増強を図る。
- ⑥登美丘東校区
グラウンドゴルフやカラオケ等の活動を通じた会員増強。
- ⑦登美丘西校区
会員の声掛けで仲間づくり。役員自治会員宅訪問が加入につながる目標達成。



**皆さまとともに
魅力あるまちづくりを**

東区長 定 真紀子

風薫るさわやかな季節となりましたが、東区老人クラブ連合会の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

貴連合会では、相互交流を通じた生きがいや健康づくりをはじめ、東区民まつりなどの地域行事への参加・参画、美化清掃、子ども安全見守り隊など、多岐に渡る活動を通して地域貢献にも取り組まれておりま

す。また、区政の推進に際しましても、一方ならぬお力添えをいただいております。木原会長をはじめ貴連合会の皆さまに、改めて敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

東区は、潤いの感じられる緑豊かなまち並みを生かして、地域コミュニティが活躍で、元気に活躍されている高齢の方がたくさんおられる区域です。区長に就任以来、地域の皆さまな

活動や行事に参加させていただき、区民の皆さまから親しみのあるお声かけやアドバイスをたくさんいただいております。皆さまの活き活きとした笑顔や温かいお言葉が私の大きな励みになるとともに、人との出会いやつながりの大切さを改めて実感しております。

昨年度、東区役所では地域課題の解決や魅力あるまちづくりの更なる推進をめざした「東区区民評議会」と、家庭・地域における教育力の向上や、子どもの健全育成の充実に向けた「東区教育・健全育成会議」を設置いたしました。

区民評議会からは、神社・仏閣をはじめ、だんじり祭りや民話、ため池・水路(狭山水系)など地域特有の歴史・文化資源の価値の再認識やそれらを活用した取り組みの重要性、中若年層のまちづくりへの参加・参画の促進などについてご意見をいただきました。また、区教育・健全育成会議からは、人と人とのつながりが希薄化し子育ての知恵やスキルが継承されにくい中、地域全体で子育てを支援していくことが重要であるといったご提言をいただきました。我々行政は、これら二つの審議会や自治会をはじめとする地域の皆さま

な声をしっかりと受け止めながら、より区の実情に合ったまちづくりを進めてまいります。

これからも、東区役所は区民の皆さまにとって最も身近な公共機関として、質の高い心もった行政サービスに努めるとともに、誰もが安全・安心・快適に暮らせるまちを実現するために、区民の皆さまや貴連合会をはじめとする地域の団体、学校等と緊密に連携・協働しながら、「チームひがし」の精神で取り組んでまいりますので、引き続き温かいご理解と協力をいただきますようお願い申し上げます。

■ 堺市東区老人クラブ連合会 役員

| 役職 | 氏名 | 校区 | 堺市老連 担当部 |
|-------|--------------------|--------|------------------|
| 会長 | 木原 剛 | 登美丘南校区 | 理事 |
| 副会長 | 藤森 金剛 | 日置荘校区 | 総務部会 |
| 会計 | 馬末野民也 | 八下西校区 | 健康厚生部会 |
| 監査 | 星野 收 | 白鷺校区 | 教養研修部会 |
| 委員 | 飯村 和夫 | 登美丘東校区 | 社会福祉部会 |
| | 幸田 勝春 (代理) 辻 隆彦 | 登美丘西校区 | |
| | 橋本 宜和 | 野田校区 | 堺市老連会長 (代表理事) |
| 女性部会長 | 大岡 幸子 | 八下西校区 | 女性部会 |

■ 堺市東区老人クラブ連合会 女性部会

| 役職 | 氏名 | 校区 | 担当 |
|------|-------|------|-------------|
| 部会長 | 大岡 幸子 | 八下西 | 堺市老連 女性部会委員 |
| 副部会長 | 三木 勝子 | 登美丘東 | 堺市老連 女性部会委員 |
| 会計 | 鷯沢 由子 | 白鷺 | 堺市老連 女性部会委員 |
| | 稲毛 裕子 | 日置荘 | |
| | 田口 淳子 | 日置荘 | |
| | 上野志津子 | 野田 | |
| | 愛川 陽子 | 野田 | |
| | 阪下 陽子 | 登美丘南 | |
| | 若生 操子 | 登美丘南 | |
| | 寺田 明子 | 登美丘東 | |
| | 原田 文子 | 白鷺 | |
| | 山本真喜子 | 八下西 | |